

# 令和5年度入学者一般選抜入学試験問題

## (B日程 国際経済学部)

### 小論文

#### 注意事項

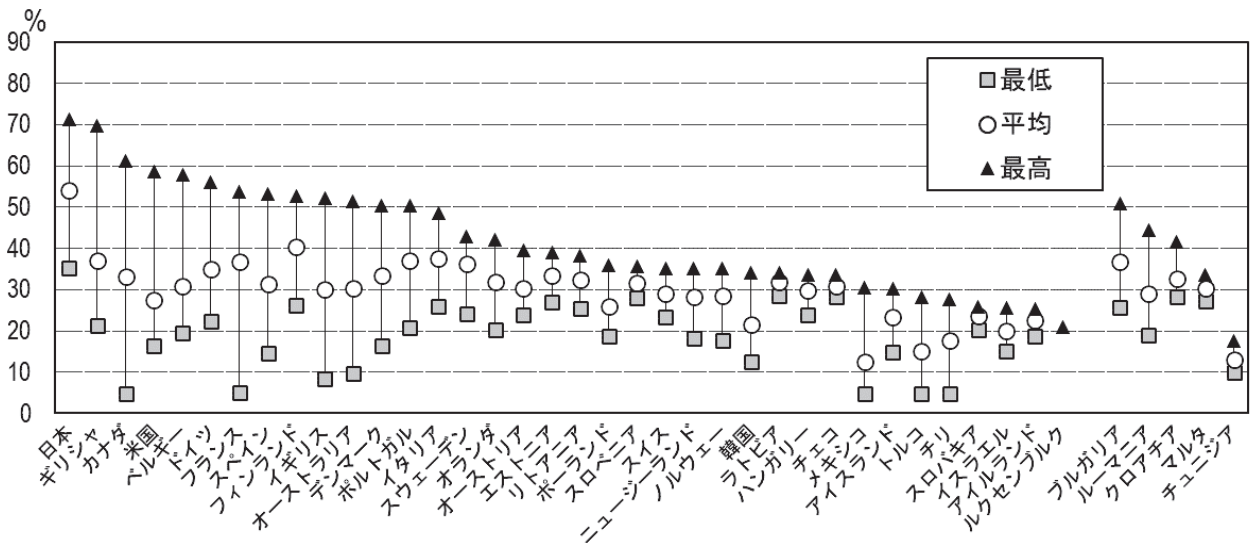
- 1 試験時間は、午後1時から午後2時までである。
- 2 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
- 3 この試験では、問題冊子(3ページ)、解答用紙2枚及び下書き用紙1枚を配付する。
- 4 試験開始の合図があつてから、解答用紙に受験番号を必ず記入すること(氏名の記入は不要)。解答用紙は2枚あるので、必ず2枚すべてに記入すること。
- 5 解答は、解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。所定の解答欄以外に記入した解答は無効である。字数の指定がある問題については数字や句読点は1字と数えること。文字数を記入する必要はない。
- 6 問題冊子及び解答用紙にページの欠落や印刷不鮮明な部分等がある場合は、手をあげて、試験監督者がそばに来てからその旨申し出ること。
- 7 原則として、試験時間中の途中退室は認めない。  
ただし、具合が悪くなった場合、トイレに行きたくなった場合等は、手をあげて、試験監督者がそばに来てからその旨申し出ること。
- 8 試験終了の合図があつたら直ちに筆記用具を置くこと。
- 9 試験終了の合図があつて筆記用具を置いたら、机の上に問題冊子と下書き用紙を重ねて置き、その上に表にした解答用紙を問1・問2の解答用紙が上になるように重ねて置くこと。
- 10 試験監督者の許可があるまで退室しないこと。

次の文章を読み、問いに答えなさい。

人口に関する変化は他のグローバルで大きな流れに比べ国民的議論の対象として注目されることは少ないが、OECD 諸国における人口減少と高齢化は今後大きな影響を与えるだろう。平均寿命の伸長は人類の偉業の一つと言える。しかし、高齢化社会への移行は、質の高い公共サービスを確保していく上で、さまざまな課題を生み出す。OECD 諸国における人口高齢化の継続は、年金制度にとって、縮小する労働人口数で引退世代の人口の増加により必要となる年金給付を負担するという意味で、大きな課題となる。加えて、労働人口数の縮小が税収の低下につながる可能性がある中で、医療や他の公共サービスも何らかの対応が必要となる。

人口の高齢化は、特定の場所が他よりも大きな影響を受けるという意味で、地域によって非対称性がみられる。一国内における地域毎の差異は、カナダ、フランス、イギリス、オーストラリアで特に顕著である。これらの国では、老年人口指数（経済的に活動的な人口である15歳から64歳人口数を100%とした場合の65歳以上の人口数の割合）が50%を超える地域がある一方で10%に満たない地域も見られる（図1）。

図1 老年人口指数の地域別の差異



出題者注) ここで比較対象となっている「地域」とは、いずれも、OECDの定義する「TL3」という単位であり、OECDの報告書が用いる地域分類の中で最小の地域単位である。表1も同様。

地域のタイプによって、高齢化の影響の大きさに差がみられる。大部分の国で、人口25万人以上の大都市地域は他の地域に比べ老年人口指数はかなり低い水準に留まっている（表1）。この点は、大都市地域以外の地域の老年人口指数が特に高いデンマーク、日本、フィンランド、フランスといった国に顕著に当てはまる。こうした国では、大都市地域から遠く離れた地域（表1の出題者注参照。）の老年人口指数が40%を超えている（日本では実に62%に達する。）。大都市

地域の老年人口指数は、日本、ドイツ、イタリア、ポルトガルを除き、すべての OECD 諸国で 30%を下回っている。

表 1 老年人口指数の国別地域のタイプ別の比較 (2019 年 単位：%)

国	大都市地域 (A)	大都市地域に 近い地域 (B)	大都市地域から 遠く離れた地域 (C)	C の地域と A の地域の差
デンマーク	28.4	35.5	50.4	22.0
日本	46.4	58.8	61.7	15.2
韓国	19.6	24.4	34.1	14.4
フィンランド	29.6	41.2	40.7	11.1
フランス	29.9	33.4	40.7	10.8
オーストラリア	21.8	28.9	32.0	10.2
イギリス	25.9	35.0	35.7	9.8
カナダ	23.6	31.4	32.8	9.2
スウェーデン	28.1	37.9	37.2	9.0
ノルウェー	22.9	29.4	30.8	7.9
オーストリア	26.5	28.7	32.0	5.5
オランダ	26.7	33.9	32.0	5.3
米国	23.9	27.0	28.5	4.6
スロベニア	29.2	30.7	33.1	3.8
ドイツ	32.2	35.4	35.4	3.3
イタリア	34.4	36.1	37.5	3.2
スペイン	28.9	28.4	31.5	2.6
スイス	27.3	26.6	29.8	2.5
OECD 加盟国平均	26.3	32.2	28.7	2.4
チリ	16.6	19.7	18.7	2.1
ポルトガル	34.0	30.7	35.8	1.8
メキシコ	11.1	11.0	12.4	1.3
ハンガリー	28.7	30.8	29.6	0.9
スロバキア	23.4	24.0	23.5	0.1
ベルギー	27.2	31.8	26.1	△ 1.1
ポーランド	27.3	25.5	25.4	△ 2.0

出題者注) 「大都市地域から遠く離れた地域」とは、大都市地域に自動車を利用して 60 分以内に行ける人口が半分未満の地域。「大都市地域に近い地域」とは大都市地域に自動車を利用して 60 分以内に行ける人口が半分以上の地域。

出典) 「経済協力開発機構 (OECD) OECD Regions and Cities at a Glance 2020」より、一部改変して掲載。OECD は、EU 加盟国及びその他の地域の先進国、中進国などで構成される国際機関。

問1 図1を見ると、日本は老年人口指数の地域間の差が大きな国に含まれる。日本を念頭に、老年人口指数が相対的に高い地域において医療サービスを提供していく上で問題になると考えられる点を2点挙げなさい。

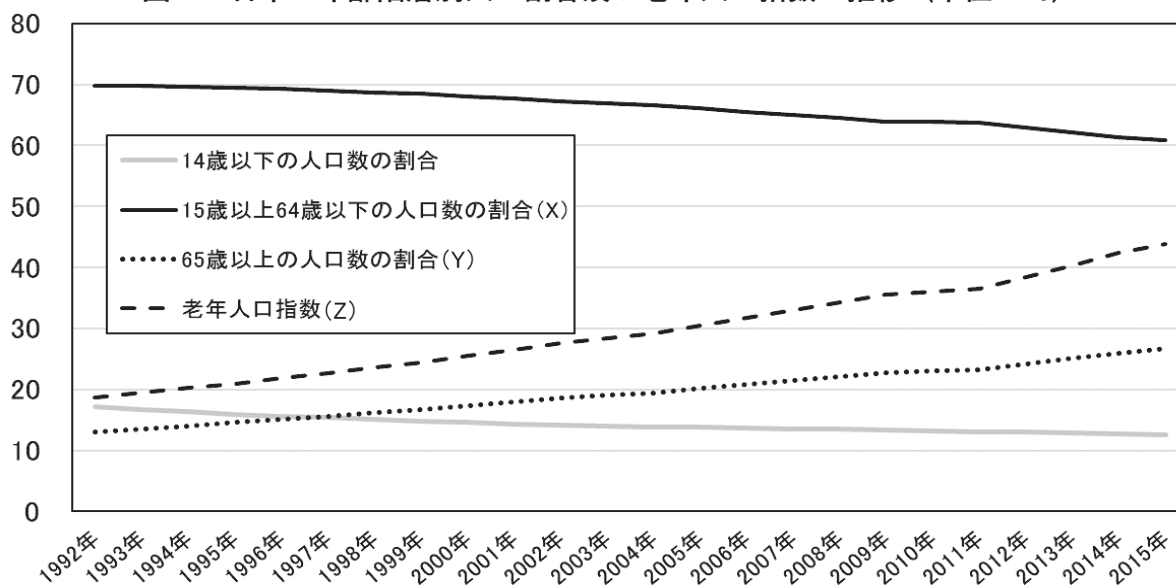
問2 表1を参照して以下の問に答えなさい。

- 1) 表1に示された値に照らして、OECD加盟国平均と比べた日本の特徴を220字以内で述べなさい。
- 2) 表1に挙げたOECD加盟国平均を除く25か国のうち12か国は、老年人口指数が「大都市地域」よりも「大都市地域に近い地域」、「大都市地域に近い地域」よりも「大都市地域から遠く離れた地域」で高くなっている。この例外である国を全て挙げなさい（OECD加盟国平均は除く。）。

問3 老年人口指数に関連して以下の問に答えなさい。

- 1) 一国の総人口に占める15歳以上64歳以下の人口数の割合をX%、総人口に占める65歳以上の人口数の割合をY%とすると、老年人口指数Zは $Z = Y \div X \times 100$ で表されることを、総人口数をS、15歳以上64歳以下の人口数をT、65歳以上の人口数をUとして、数式によって説明しなさい。
- 2) 日本の老年人口指数は図2に示した期間において一貫して増加している。この理由を図2に示された上記1)のXの値とYの値によって100字以内で説明しなさい。

図2 日本の年齢階層別人口割合及び老年人口指数の推移（単位：%）



出所：総務省統計局「人口推計」